

ソーシャルインクルーホーム燕巣木評価報告書にかかる質問一覧表

No				質問内容	第2回協議会回答	第3回運営会議回答	第3回協議会回答
1	1 施設概要	施設概要	職員配置	当初計画の職員が確保されていないにも関わらず、予定より5カ月も早く開設した理由は何か。	想定よりも早く人員の確保ができたため開設いたしました。	想定よりも早く人員の確保ができたため開設いたしました。	開所は1階から行いました。よって提出した計画の約半分の職員で開所致しました。計画時の想定を上回るペースで世話人・生活支援員の採用が進んだこと、開業初年度のため定員の90%(1階9人)が入居しているとみなした人員配置(世話人3.3人、生活支援員2.7人など)を満たしたこと、早期に入居したい方の需要が高かったことから予定開所時期(令和6年2月)よりも早い開所に至りました。
2		施設概要	職員配置	日中の世話人及び生活支援員の常勤換算の内訳を確認したい。	生活支援員配置基準2.7に対し常勤換算・支援員3.9・世話人7.2となっております。		生活支援員配置基準2.7に対し常勤換算・支援員3.9・世話人7.8となっております。
3		施設概要	職員配置	職員配置 世話人2名 支援員2名となっているが、管理者サビ管の記載はなくてもいいのか。	報告書、職員配置の欄が無かったため、記載しておりませんでした。管理者、サビ管各1名おります。		職員配置数については第2回協議会全体会での回答を訂正し、世話人17名、生活支援員6名となります。
4		施設概要	職員配置	終日原則各階2名、管理者サビ管含め4名以上の体制となっているが、支援員＝管理者サビ管なのか。	現在、管理者1名、サビ管1名、生活支援員4名が常勤で在籍しております。管理者、サビ管が利用者様を支援することもあります、イコールではございません。		現在、管理者1名、サビ管1名、生活支援員6名が常勤で在籍しております。管理者、サビ管が利用者様を直接支援することもあります、イコールではございません。管理者、サビ管は専従であり、生活支援員も専従の体制です。
5		施設概要	職員配置	常勤換算後の職員配置の人数等、実際の職員体制がよくわからない。	原則、各階2名の職員が常におります。そのほかに管理者、サビ管が常勤しておりますので、平均しますと施設内に職員が4～5名働いている体制となります。		原則、各階2名の職員が常におります。そのほかに管理者、サビ管が常勤しておりますので、平均しますと施設内に職員が4～5名働いている体制となります。常勤換算で支援員3.9・世話人7.8となっております。
6		施設概要	職員配置	重度の障害のある方を受け入れる手厚い職員体制をとっておられると思うので、配置基準の職員人数と実際の人数を載せてわかりやすく教えてほしい。	現在の配置基準の職員数は2.7となっております。それに対し4～5人の職員体制となりますので、手厚い体制とっております。		常勤換算で支援員3.9・世話人7.8となっております。実際の職員体制は各階2名の職員が常におります。そのほかに管理者、サビ管が常勤しておりますので、平均しますと施設内に職員が4～5名働いている体制となります。
7		施設概要	職員配置	職員配置の日中・夜間の詳しい時間帯	原則、常時各階2名以上の職員配置となっております。 生活支援員：日勤者8:30～17:30 夜勤者16:00～10:00(勤務時間) 世話人：日勤者9:00～17:00 夜勤者17:00～9:00(勤務時間)		
8		施設概要	職員配置	世話人・生活支援員の経験年数	：福祉業界の経験年数 生活支援員4名はいずれも経験年数5年から10年以上の経験があります。 世話人22名の経験年数ですが経験年数が5年を超える職員が11名おります。 未経験者は5名いますが、入社より1か月OJT研修を実施しております。 経験豊富な職員と経験の浅い職員とシフトを組み、利用者様には安心して利用して頂くと共に職員の研鑽に努めております。		
9		施設概要	職員配置	有資格者の職員の内訳を教えてください	現在詳細を確認できないため、確認をしてから改めてご回答致します。	資格の内訳と延べ人数は下記の通りとなります。 介護福祉士：7名 初任者研修：3名 実務者研修：2名 正看護師：1名 准看護師：2名 栄養士：1名 調理師：2名 社会福祉主事任用資格：4名 理学療法士：1名	
10		施設概要	職員配置	(第3回運営会議での質問) 計画書より少ない人数にも関わらず、開所をした理由については、人員の確保ができたから開所したと回答をいただいたが、その人員とは職員なのか利用者なのか主語がない。人員換算がわかっているのか。		職員の確保が予定より早い段階で進んだので、開所いたしました。	開所は1階から行いました。よって提出した計画の約半分の職員で開所致しました。計画時の想定を上回るペースで世話人・生活支援員の採用が進んだこと、開業初年度のため定員の90%(1階9人)が入居しているとみなした人員配置(世話人3.3人、生活支援員2.7人など)を満たしたこと、早期に入居したい方の需要が高かったことから予定開所時期(令和6年2月)よりも早い開所に至りました。
11	2 利用者状況	利用者状況	入居・退去の状況	退去者として、退去された方の原因はなにか	レントゲン検査やCTによる検査も行われましたが、原因の特定には至らず、不詳の内因との診断がなされました。		
12		利用者状況	支援区分	支援区分6の方の障がいの程度	脳血管疾患による身体障がい、麻痺があり、高次脳障害も併発されております。		
13		利用者状況	日中の状況	通所する利用者5名の年代別	60代1名・50代2名・30代1名(一般就労)・20代1名となっております。 また、週1回通所施設を利用される方も3名(60代2名・50代1名)おります。		60代1名・50代2名・40代1名・30代1名(一般就労)となっております。
14	3 運営状況	運営状況	日中支援の提供体制と支援内容	日中の過ごし方として、部屋で一人で過ごされている方に対する職員の関わり方はどのようなになっているのか。テレビを見ていたり音楽を聴いたりしていれば、ずっとそのままなのか。 できれば、日課の中で刺激や変化のある時間があってほしい。	①職員の出社時の挨拶(9時頃)、②10時と15時の水分補給、③昼食(12時頃)④入浴、⑤夕食(18時頃)と最低でも6回は巡回の意味合いも込めて関わるよう徹底しております。 居室の環境整備も週1回以上利用者様とできる限り協力する形で取り組んでおります。 また、利用者様の趣味趣向、状態、状況に応じ施設内での塗り絵、切り絵、ボードゲーム施設外に外気浴や散歩のお誘いなど実施しております。		

No				質問内容	第2回協議会回答	第3回運営会議回答	第3回協議会回答
15		運営状況	日中支援の提供体制と支援内容	日中支援の提供体制…支援内容を見ると現在の職員数では不足しているのではないかとと思うが	生活全般の支援ですので職員が余剰ということはありませんが、余暇時間に職員と利用者様とボードゲームを実施したり、テレビを見て談笑したりと余裕が無い状態ではございません。		
16		運営状況	日中支援の提供体制と支援内容	薬の管理はどうしているのか	原則、施設管理とさせて頂いておりますが、一部を自己管理されている方もいらっしゃいます。協力頂いている調剤薬局様と服薬状況や残薬の管理、受診のタイミングを管理させていただいております。		
17		運営状況	日中支援の提供体制と支援内容	日中グループホーム内で過ごす方はどのように過ごしているか	利用者様によって様々で、居室で過ごす方、ホールにて職員や他の利用者様と交流される方、お一人で散歩される方がいらっしゃいます。		
18		運営状況	日中支援の提供体制と支援内容	通院は何人付き添っているのか	1月30日次点に於いて14名のご利用者様の通院の付き添いを行っております。		
19		運営状況	日中支援の提供体制と支援内容	遠方への付き添いは可能か	職員体制上、近隣の市内までの対応とさせていただきます。		
20		運営状況	外出や余暇活動の実施状況	外出頻度はどの程度なのか	利用者様によって様々で、月に1、2回の方、ほぼ毎日就労や通所施設に行かれる方、施設外を散歩される方がいらっしゃいます。		
21		運営状況	地域との交流状況	他の事業所や就労先、家族等は地域と違うように思うが地域をどのように認識しているのか。	地域の認識としては、事業所、企業、人など、生きていくうえで関わりも持つものが地域と認識しております。散歩すること、近隣のお店で買い物をする、近隣住民と挨拶することも地域交流と認識しております。	廿六木四区に参加していますが、ボランティア活動の受け入れや地域の催し物への参加には至っておりません。今後はボランティア活動等への受け入れに向けて活動をしていく予定です。	廿六木四区に加入していますが、開所間もないことから、利用者様のグループホームでの生活の受け入れや安定を最優先に考え、生活のメリハリや活動性の向上のため、近隣の散歩や買い物などの生活支援の充実に取り組んでいる段階です。今後は、施設の体制や利用者様の受け入れ態勢を整えしだい、地域の行事等への参加や地域との交流イベントの開催を検討するほか、お招きできるボランティア活動団体への依頼を行います。
22	3 運営状況	運営状況	地域との交流状況	2023年7月に提出をした事業実施計画と、説明してもらった実態が異なるがどうか	事業実施計画が手元に無く、内容を確認できないため、資料の準備ができてから改めてご回答致します。	廿六木四区に参加していますが、開所間もないことから、ご利用者様がソーシャルインクルーホーム燕巣木が生活の基幹であることを実感していただくことを念頭に考え、ボランティア活動の受け入れや地域の催し物への参加には至っておりません。今後はボランティア活動等への受け入れに向けて徐々に活動をしていく予定です。	廿六木四区に加入していますが、開所間もないことから、利用者様のグループホームでの生活の受け入れや安定を最優先に考え、生活のメリハリや活動性の向上のため、近隣の散歩や買い物などの生活支援の充実に取り組んでいる段階です。そのため、自治会活動への参加やボランティアの受け入れが行えていない状況です。今後は、施設の体制や利用者様の受け入れ態勢を整えしだい、地域の行事等への参加や地域との交流イベントの開催を検討するほか、お招きできるボランティア活動団体への依頼を行います。
23		運営状況	地域との交流状況	(第3回運営会議での質問) 計画書では自治会に参加し、催し物に参加すると書いてあるが、報告書では催し物には参加をしていないし、報告書には散歩や買い物としか書いていない。この点はどうか、ちゃんと計画書を読んでいるのか。		おっしゃるとおり、現在地域の行事やイベントには参加できておらず、これからの課題です。	廿六木四区に加入していますが、開所間もないことから、利用者様のグループホームでの生活の受け入れや安定を最優先に考え、生活のメリハリや活動性の向上のため、近隣の散歩や買い物などの生活支援の充実に取り組んでいる段階です。そのため、自治会活動への参加やボランティアの受け入れが行えていない状況です。今後は、施設の体制や利用者様の受け入れ態勢を整えしだい、地域の行事等への参加や地域との交流イベントの開催を検討するほか、お招きできるボランティア活動団体への依頼を行います。
24		運営状況	地域との交流状況	民家が1件、アパートが1件しかないなかで、交流が少ないのはわかるが、除雪や施設でイベントを開催して呼んでもらえるといい	近隣の方とあいさつをしたり、会話を行っております。また、この冬除雪時に労をねぎらったり、協力し合い交流を行いました。今後、施設イベント開催時にはお声かけさせていただきます。		近隣の方とあいさつをしたり、冬の除雪時に労をねぎらったりするなどの交流はありますが、委員のご意見のとおり、今後は施設のイベントを開催するなど、地域との交流を深めてまいります。
25		運営状況	食事の提供体制	利用者全員が同じ食事？病気に応じた食事への対応は？調理師資格は不要なのか	基本的に同じ食事を提供し、召し上がっていただいております。食形態は一口大、刻み食、ムース食の準備はございますが、病気に対応した食事といたしましては、主治医と相談し、塩分制限の方に汁物や漬物の提供を中止したり、カロリー制限の方に、定められた主食のご飯の量を遵守して頂くこととなります。調理師は配置義務等ございませんが、調理師、栄養士の有資格者が在籍しております。		
26		運営状況	食事の提供体制	高齢者施設ではパンやお餅を提供しないことはあるが、ソーシャルインクルーホーム燕巣木ではどうしているのか	1月1日の食事では、お餅の入ったお雑煮を提供いたしました。		
27		運営状況	事故対応の体制と対応状況	この度地震があったが、実際はどのような状況で、どのような対応をしたのか	共有スペースにおりましたご利用者様に対しては、職員付き添いのもと、座ったりしゃがんだりして、転倒の防止を図りました。その後、居室内で過ごしていたご利用者様に対しては、職員が各居室の巡回による安否確認を実施しました。		
28		運営状況	事故対応の体制と対応状況	地震があったとき、家族には連絡をしたのか	当施設内で過ごされていたご利用者様のご家族および帰省されていたご利用者様のご家族ともに電話にて連絡を実施しました。		
29		運営状況	事故対応の体制と対応状況	地震が起きたが、対応のマニュアルがあるのか	地震や洪水に対応した避難確保計画を用意しております。		

No				質問内容	第2回協議会回答	第3回運営会議回答	第3回協議会回答
30		運営状況	金銭管理の体制と対応状況	身寄りの無い方の通帳等貴重品管理をされているようだが、成年後見もやっておられるのか。	施設としては成年後見を行っていません。外部の成年後見人を利用されている方は現行2名の方、今後利用される予定の方が2名おります。		
31		運営状況	金銭管理の体制と対応状況	通帳管理というより、その方の金銭管理はどのようになっているのか。	各利用者様の金銭状況、生活歴、既往歴、こだわりに応じて、ご家族様、相談員、成年後見人と協議し月々の生活費を決定し、それに準じ医療費等の生活必要費と嗜好品などのバランスを管理しております。		各利用者様の金銭状況、生活歴、既往歴、こだわりに応じて、ご家族様、相談員、成年後見人と協議し月々の生活費を決定し、それに準じ医療費等の生活必要費と嗜好品などのバランスを管理しております。 金銭自体は入居者の必要に応じ、施設が立て替えることで金銭の持ち込みが不要の体制を取っています。身寄りがいなく居を施設に移している方等については、ご持参された通帳等貴重品は電子錠の耐火金庫に納めており、紛失を防ぐ体制を取っております。
32		運営状況	金銭管理の体制と対応状況	金銭管理のチェック体制はどのようになっているのか	金銭の利用時には、必ず職員がその内訳を確認する体制を敷いております。	15日と月末の2回で金銭の不正が無いが管理者およびマネージャーで確認しております。	入居者の必要に応じ、施設が立て替えることで金銭の持ち込みが不要の体制を取っており、15日と月末の2回で金銭の不正が無いが管理者およびマネージャーで確認しております。身寄りがいなく居を施設に移している方等については、ご持参された通帳等貴重品は電子錠の耐火金庫に納めており、紛失を防ぐ体制を取っております。
33		運営状況	金銭管理の体制と対応状況	本人の持ち物である現金を持ち込めない体制なのは問題ではないか	施設運営として、必要時には施設側が立て替えて対応することで、金銭の紛失や窃盗等のトラブルを予防する体制をとっております。そのため、金銭を持ち込む必要のない運営を行っているところであり、一切の持ち込みを禁じているものではありません。		
34		運営状況	短期入所の実施と受入状況	短期入所者は同じ人の利用なのか	男女10名程度の方がそれぞれ1、2泊程度ご利用なさっており、1月、2月も新規のご利用者様がおられる等、様々な方にご利用して頂いております。		
35		運営状況	短期入所の実施と受入状況	緊急受け入れは可能なのか	居室が空いている場合に限り可能です。しかし、ケアの観点から普段より短期入所をご利用していただけますと幸いです。		
36	3 ・ 運 営 状 況	運営状況	人材確保・育成のための取組状況	育成面で研修体制を敷いている記載されているが、研修は知識や技能を高めるためにある期間勉強や実習することで、会議で事例検討することとは違うように感じるが研修をどのように考えているのか。	研修は人材育成をする上で重要な機会と考えております。また、職員間で事例検討会議する事で主体性を育み、利用者様の理解を深めることに繋がると考えております。また、OJTを実施し、自ら得た知識や経験、技術を次の職員へ伝えることも行っております。		
37		運営状況	人材確保・育成のための取組状況	(第3回運営会議での質問) 毎月研修を行っているが、研修の内容はなにか教えてほしい		次回資料を用意致します。	※別紙資料参照
38		運営状況	サービスの質の評価体制	体制が整備されなかった理由は何か。また、モニタリングや会議の他にも必要に応じて取り合うとは何を取り合うのか。	開設し間もないことから第三者機関を設けるに至りませんでした。今後整備して参ります。「取り合うとは」についてですが、読みにくい文章で申し訳ありませんでした。連絡を取り合うことでございます。		現在は、定期的なモニタリングや会議の他にもサービス管理責任者が中心となり、利用者や家族、相談員との連絡を必要に応じ取り合うことで、ニーズ、ニードの把握に努め、可能な限り、事業所の運営に反映しようと努めておりますが、サービスの質の評価する体制が整備されているとは言えません。今後は定期的なモニタリングや会議の場での確認を実施するほか、利用者やご家族様にアンケートを実施するなど、サービスの質の評価の体制整備に努めてまいります。
39		運営状況	サービスの質の評価体制	サービスの質の評価として、これまでどのようなニーズ等があったのか	就労等の事業所の利用、買い物、散歩、など、外出に関するニーズ 嗜好品の充足、居室に家具、家電が欲しい、など、生活環境整備に関するニーズ 公共料金の支払い、月の使用金額の設定管理など、金銭に関するニーズ 通院、治療のための病院検索など、健康に関するニーズがございました。		
40		運営状況	サービスの質の評価体制	(第3回運営会議での質問) サービスの質の評価体制として、利用者や家族にアンケートを取ってみたいかがか		遠方のご家族様には郵送するなどして、実施していきたい。	ご意見のとおり、遠方のご家族様には郵送するなどして、利用者や家族にアンケート実施していきたいと思っております。
41		運営状況	その他(事業所独自の取組等)	各階2名と記載があるが、この2名はどういう存在か。	生活支援員、世話人となります。		
42		運営状況	その他(事業所独自の取組等)	避難訓練の実施は	全社で取り組んでいる毎月の研修にて3月と9月に実施する予定です。また、入社時に避難経路、避難所、消火器の位置、非常時持ち出し物などの確認。施設の耐震性の説明など実施しております。また、元日の地震を受け、職員全員で非常時の対応の確認を改めて実施致しました。		

No				質問内容	第2回協議会回答	第3回運営会議回答	第3回協議会回答
43	3 ・ 運 営 状 況	運営状況	その他(事業所独自の取組等)	施設の感染対策は何を行っているのか	施設内をアルコールや次亜塩素酸等で消毒を行っております。	前回の回答した内容に加え、以下のことも実施しております。 ・職員およびご利用者様への手洗いを励行 ・毎食事前の食卓のアルコール消毒、手すりやドアノブのアルコール消毒 ・食堂や廊下などの共有スペースの次亜塩素酸ナトリウムによる消毒 ・まな板や包丁等、調理器具の塩素での殺菌 ・共有スペースおよび各居室内での24時間換気扇の稼働	
44		運営状況	その他(事業所独自の取組等)	施設内の清掃はどうしているのか	共有スペースに於いては、朝と夕に職員がモップ等の掃除用具を用いて実施しております。ご利用様の居室は各人の能力に応じて、職員が対応しております。		
45		運営状況	その他(事業所独自の取組等)	予防接種はどうしているのか	ご本人様やご家族様の希望に基づいて、職員が通院の同行を対応しております。		
46		運営状況	その他(事業所独自の取組等)	消防設備の点検はどのようになっているのか	1年に1回以上、専門業者による点検を受けております。		
47		運営状況	その他(事業所独自の取組等)	(第3回運営会議での質問) 仕切られている調理室から見守りが難しいのではないか。オープンに見守りができる造りのほうがよかったですのではないか		理室に職員が居る時には、ホールにも職員を配置する形をとるようにしており、見守り体制を敷いております。	